

第67期報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

ホームページのご紹介

●TOPページ



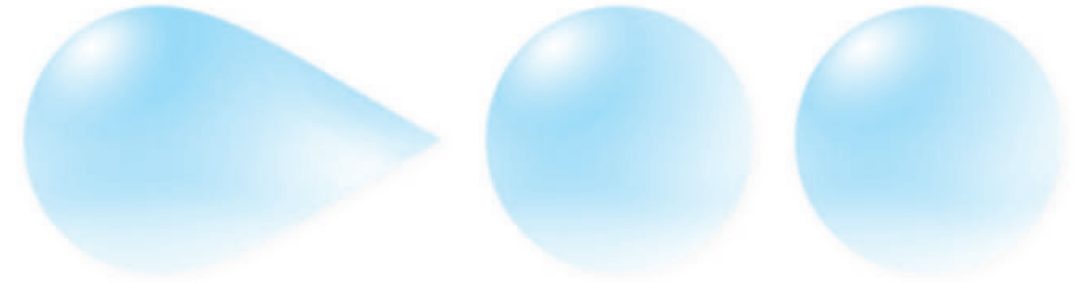
IRページ
最新のIR情報を提供しています。



purifié情報ページ
飲用純水ボトルウォーター「purifié(ピュリフィ)」についてご紹介するページです。

プロダクトサイト(平成24年6月1日開設)
小型製品から大規模水処理システム、運転管理まで、お客様のニーズに即した情報を提供します。

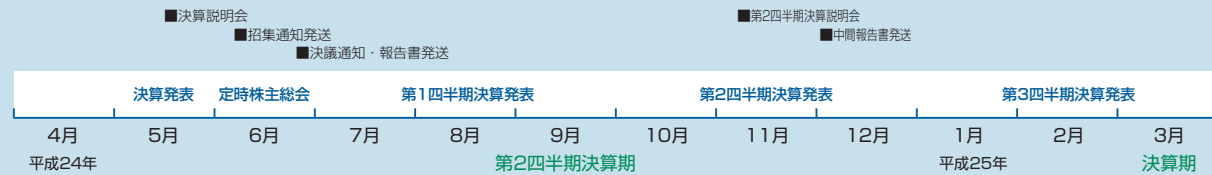
<http://www.organo.co.jp/>



Ecologically Clean

IRカレンダー (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

※平成24年6月28日現在の予定です。



オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営企画部 TEL.03-5635-5111
ホームページアドレス <http://www.organo.co.jp/>



オルガノ株式会社

企業コンセプト

Ecologically Clean

企業理念

オルガノグループは
かけがえのない地球の未来を見つめ
“心”と“技”で水の価値を創造する

経営理念

- お客様にとって、最適な商品・技術・サービスを創造し、提供し続ける企業を目指す
- 株主様にとって、常に成長し、安定収益をあげる魅力的な企業を目指す
- 社員にとって、働き甲斐があり、誇りの持てる企業を目指す

株主の皆様へ



代表取締役社長

内田 敏行

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ここに当社の第67期事業年度（平成23年度）のご報告をさせていただきます。

1. 当連結会計年度の概況

当期におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災後の生産活動、サプライチェーンの復旧などにより緩やかな景気回復に向かいつつも、被災地の本格的な復興の動きは進んでおらず、電力供給不安や円高の進行、欧州の債務危機や原油価格の上昇などの影響による世界景気の下振れ懸念などを背景に先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の生産活動の回復に伴い一部では設備投資再開の動きもありますが、生産拠点の統廃合や海外移転の動きは継続しており、また、主たる海外市場である中国、東南アジア地域では、先進国向け輸出環境の悪化、金融引き締めによる投資の減少などの影響で経済成長率に鈍化がみえはじめるなど依然として厳しい状況にあります。

当社グループは、前期より3カ年の中期経営計画をスタートさせ、電子産業分野をはじめとする国内大型投資案件主体のビジネス体制から、海外・産業全般における純水・排水、さらに回収に至る広範囲の水処理ニーズにプラント・

ソリューション・機能商品部門が一体となって対応できる体制へと再構築を進め、売上の拡大及び海外調達等による一層のコストダウンによる収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、受注高につきましては、水処理エンジニアリング事業において、国内では震災の復旧対応も含めた産業全般での受注が増加し、海外ではアジア地域における電子産業関連分野を中心とした受注が伸びたことなどから、680億円（前期比3.0%増）と前期に比べ増加しました。売上高につきましては、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が増加したことから、685億円（前期比12.1%増）となりました。また、利益面につきましては、売上高が増加したことに加え、コストダウンなどに努めた結果、営業利益48億円（前期比37.3%増）、経常利益47億円（同41.5%増）、当期純利益26億円（同44.4%増）と前期を大幅に上回りました。

なお、当期の期末配当金につきましては、当期の業績を踏まえ、中間配当金と同じく1株当たり6円とさせていただきます。これにより当期の年間配当金は1株当たり12円となります。

2. 次期の見通し

国内では震災復興の遅れ、電力の供給不安、円高の継続、引き続き進む生産拠点の統廃合、海外移転などにより厳しい情勢が続くものと予測されます。また、海外では長期化する欧州の債務危機や原油価格の高止まりなど世界経済の先行き不透明感は拭えず、中国などアジア地域の新興国における経済成長率の低下なども懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画の最終年度にあたる平成24年度の計画達成のため、引き続き産業全般・海外での営業体制を強化し、受注及び売上の拡大に取り組むとともに、コストダウンなど収益の改善に努めてまいります。

通期の業績見通しにつきましては、受注高750億円（当期比10.2%増）、売上高750億円（同9.5%増）、営業利益50億円（同3.1%増）、経常利益48億円（同0.4%増）、当期純利益29億円（同8.1%増）を見込んでおります。

次期の配当金につきましては、業績の見通しを勘案し、当期と同じく1株当たり年間12円（中間配当金、期末配当金ともに1株当たり6円）を予定しております。

3. 今後の経営方針

経済環境の変化により、これまで事業の大きな柱となってきた国内電子産業向けの大型水処理装置の新設は見込みにくい状況です。しかしながら、メンテナンスや水処理アウトソーシング受託事業など、顧客の多様化するニーズに応えるソリューションビジネスについては今後も拡大が予想され、また、食品・飲料などの一般産業分野では継続的に設備投資がなされると見られており、こうした需要を取り込み事業の拡大を図ります。

海外においては、経済成長の鈍化がみられるものの、アジア地域を中心に火力発電所の建設計画が相次ぎ、また、電子産業や食品分野向けの設備投資は着実に増加していく見通しであり、当分野への拡販に力を注ぎます。また、従来は、海外進出した日系企業を中心に事業を展開してまいりましたが、海外拠点の生産・調達機能を高め、コスト競争力を強化することにより、現地企業への販売を拡大し、顧客層を広げてまいります。

当社グループは、このような取組みを通じて、将来目標として売上高1,000億円、営業利益100億円を目指します。売上高1,000億円という数値は水処理専門エンジニアリングメーカーとして存在感を示すための必須条件と考えており、早期の実現に向けて尽力してまいります。

4. 最後に

第68期事業年度（平成24年度）は、先述のとおり中期経営計画の最終年度となりますが、数値目標の達成はもちろん、さらなる成長に向けた事業基盤の強化にグループ一丸となって全力で取り組んでおります。

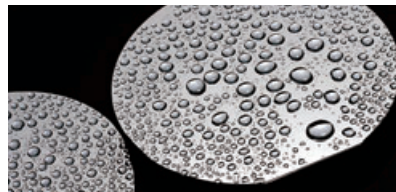
株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成24年6月

▶ プラント事業

電子産業分野

半導体や液晶、各種電子部品・材料の洗浄工程に欠かせない超純水の製造装置をはじめ、各種の排水処理設備、外部へ排水を出さずに循環利用するクローズドシステム、排水からの有価物回収システムなど、電子産業分野においてオルガノは世界トップレベルの技術を誇っています。



一般産業分野

化学、石油精製、食品工業、紙・パルプ、繊維・染色、自動車、メッキ工業など、あらゆる産業に対して、プロセス用水の処理システム、各種の排水処理設備、水の回収・再利用システムなどを提供し、高い評価をいただいています。



電力分野

高い信頼性を求められる火力・原子力発電所向け水処理プラント。オルガノはこの分野で圧倒的なシェアを誇っています。なかでも発電所において、主要水処理設備である復水ろ過・脱塩装置は、オルガノの独壇場として長年トップシェアを堅持しています。さらに、国内のみならず東南アジアや米国の発電所向けにも水処理装置を納入するなど、その技術力の高さを証明しています。



上下水道分野

私たちの生活に欠かせないライフラインである上水道・下水道。上水道では沈でんろ過、膜ろ過、活性炭やオゾンによる高度処理設備など、下水道では生物処理設備、高速繊維ろ過装置など、オルガノの技術が活躍しています。



医薬品分野

安全性が特に重要視される医薬品製造プロセス。ここでもオルガノの高度な技術が活かされています。注射用水をつくる蒸留水製造設備や製薬設備を細菌から守る純粋蒸気発生器など、高純度でバイロジェン（発熱性物質）を含まない、高い安全性を有する水をつくるシステムを提供しています。



▶ ソリューション事業

メンテナンス

長年培ったノウハウをもとに、水処理装置に関する修理や部品交換、定期点検、保守点検などのメンテナンスを行います。

提案型サービス

既設水処理装置の設備診断とあわせて改善・改良提案を行います。また、薬品使用量や廃棄物の削減など、環境負荷低減に貢献する提案を行います。

水処理アウトソーシング受託事業

■ 包括メンテナンス

お客様の工場にある水処理装置の点検と消耗品交換などのメンテナンスをオルガノが一括受託することにより、安心して装置をお使いいただけます。

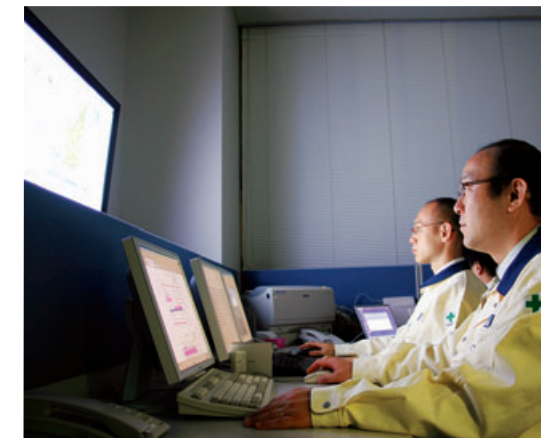


■ 処理水供給

お客様の工場内にオルガノが水処理装置を設置し、使用量に応じた処理水を供給します。お客様のニーズも高まっており、大規模な水処理加工業務を受託しています。

■ 遠隔監視

オルガノ本社内にある監視センターで、お客様の水処理装置の運転状況を遠隔監視しており、異常があった際の早急な現場対応をバックアップします。装置の運転データの変化を読み取り、予測監視により水処理プラントのトラブル防止に貢献します。



■ 運転管理

ノウハウを有した運転担当者を派遣し、状況に応じた適切な運転管理を行うことにより、お客様の負担を軽減し、安定かつ効率的な運転を実現します。

▶ 機能商品事業

標準製品

純水装置はもちろん、水に新たな機能を付加する機能水製造装置など、短納期・低コストで豊富な商品ラインアップを有しており、電子産業から食品工場、病院、研究所、レジャー施設まで、ニーズに合わせて広く用いられています。



キャビネットタイプ純水装置 PROシリーズ

電気脱塩式純水装置 SD-HFシリーズ

水処理薬品

冷却効果を高め省エネにつなげる冷却水処理薬品やボイラを効率的に運転するための処理剤、廃棄物の削減につながる排水処理剤など、水処理用の多様な薬品をラインアップ。装置と組み合わせたトータルシステムを提案し、安定運転を実現します。



食品加工材

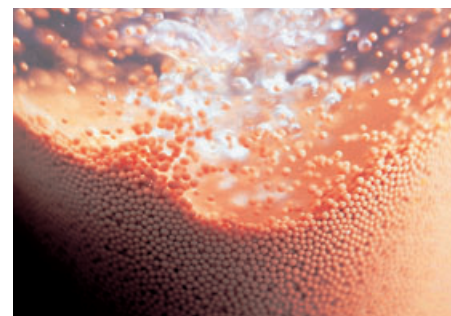
食品加工材の分野では、主にハムや即席めんの改良に用いられるリン酸塩が国内トップシェアの実績。その他、第三のビールに使用されるエンドウたん白をはじめ、様々な品質改良剤、食品素材を開発・製造・販売しております。オルガノの技術は豊かな食文化の創造にも貢献しています。



イオン交換樹脂

様々な分野で利用される「イオン交換樹脂」

イオン交換樹脂は、水中のイオン類を吸着させるという特性を有しており、その特性を活かして様々な用途に利用されています。代表的な用途としては半導体工場で使用される不純物を限りなくゼロに近づけた「超純水」の製造や、工場から排出される排水中の有害物質の除去などがあります。また、医薬品分野や食品分野などでは医薬品成分の抽出・精製、アミノ酸・ポリフェノールなどの機能性食品素材の抽出やオリゴ糖の脱色などに幅広く利用されています。当社は創業以来60年以上にわたり培った技術と長年の実績をベースに、さらなる分野・用途の開拓を進めてまいります。



2年目も売上高・営業利益とも計画達成、仕上げの最終年度へ

中期経営ビジョン

人と地球の未来に貢献する“Customer Value 創造企業”

当社グループは、平成22年度より3か年の中期経営計画に着手しており、1年目、2年目は順調に売上高・営業利益とも計画を達成しました。最終年度にあたる平成24年度も、速いスピードで進む環境変化へ対応すべく、事業ポートフォリオの転換をさらに進め、売上高750億円、営業利益50億円の達成を目指します。中期経営計画の大きな柱のひとつとして海外事業の強化を掲げています。主たる海外市場である中国、東南アジア地域では、先進国向け輸出の減少や金融引き締めによる投資の縮小などにより経済成長がやや鈍化しているものの、日本をはじめとして先進国企業のこれら地域における設備投資は底堅く推移すると見られています。このような環境に対応するため、平成22年度より体制強化を図り、アジア地域を中心に海外事業拡大に注力しています。平成23年度の海外売上高は86億円となり、電子産業分野の停滞により計画の100億円には届きませんでした。平成24年度は売上高120億円を目標に事業を進めています。

◆新興国への発電所向け水処理装置の拡販
新興国の経済発展に伴いエネルギー消費が急増しています。産業分野における需要拡大はもとより、今後は経済成長に伴う中間所得層の拡大により家電製品の普及率が高まり、民生分野の電力消費も増加が予測されています。当社では既に火力発電所向け水処理装置を台湾・ベトナムなどで受注しており、さらなる事業拡大を目指します。

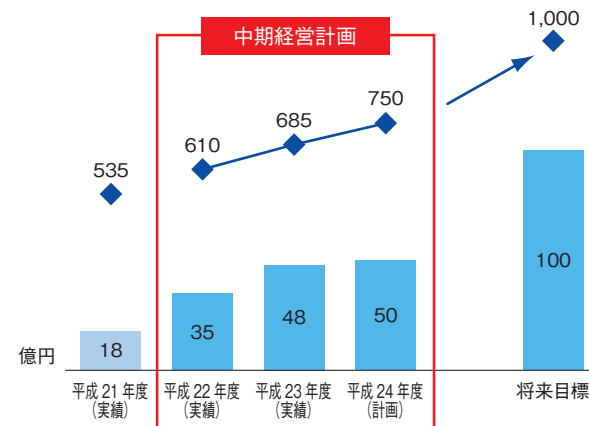
◆拡大するスマートフォンやタブレット端末市場への取組み
スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、アジア地域において大規模集積回路やプリント基板などの設備投資が拡大しています。当社グループではこれら基幹部品供給企業向けに多数の水処理設備を納入しており、納入後も運転管理サービスを通じてこれら部品の安定供給に貢献しています。

◆タイにおける洪水復旧活動
平成23年10月初めよりタイで発生した大洪水により、多くの工場が冠水し、操業停止に追い込まれました。タイ現地法人のオルガノ(タイランド)では、必要な要員や装置を日本から速やかに送り込み、多数のお客様の工場において、冠水した水処理設備の早期復旧の支援を行いました。

当社の海外事業への取組みの一部を紹介します。

■中期経営計画売上高/営業利益目標

◆売上高 ■営業利益



タイにおける洪水復旧活動

新規事業の育成

国内大型投資の減少や水ビジネスへの参入業者の増加などによって、水処理分野の受注競争は厳しさを増しています。当社グループが継続的に拡大し続けるためには、既存のビジネスモデルにとらわれない新規事業の育成が不可欠と考え、専任の組織を設置しその拡大を図っています。

住宅用空気清浄機「エアワッシャー」

平成24年度中に、住宅用空気清浄機「エアワッシャー」の販売を開始します。水を使って空気を洗う新方式を採用することで、花粉や粉じんなどの微粒子に加え、硫酸化物やアンモニアなどのガス状物質、さらには放射性物質等の効果的な除去が可能です。また、従来のフィルタータイプと異なり、目詰まりなどによる性能低下が起きず、フィルター交換などの手間も不要です。

住宅メーカーや設備メーカーを通じて、一般家庭をはじめとする幅広いお客様に向けてマーケティングを行っています。



エアワッシャー



purifié



工業用水・井水処理用ろ過装置

飲用純水ボトルウォーター「purifié（ピュリフィ）」

南アルプス伏流水を原水に、不純物をほぼ100%除去した「純水」をペットボトルにつめた飲料水の販売を平成24年度中に開始します。当社の水処理ノウハウを活かした「purifié」は安全性が要求される新生児向けの粉ミルクの調乳やお酒の味を引き立てる割り水などの用途を主なターゲットとしています。

工業用水・井水飲用化ビジネス

工業用水や井戸水をろ過膜などを用いて飲用可能な水質に浄化し、工場などに課金制で供給する事業を進めています。お客様が自社で設備投資を行うことなく、当社が浄化設備を設置し、余剰の工業用水や地下水を利用して飲用可能な水を作ります。上水道よりも安価な工業用水や地下水を用いているため、設備を設けて浄化した場合でもお客様のコスト削減につながります。さらに非常時のライフラインとしての効果も期待でき、すでに10件以上ご採用いただいています。

食品事業 造粒ビジネスに参入

食品事業を手掛ける当社グループ会社であるオルガノフードテック株式会社では、これまで粉状の食品加工材を中心に生産・販売してきましたが、このたび造粒設備を新設し、新たなビジネス展開を図ることとしました。

造粒とは粉末の原料からほぼ均一な形状と大きさの顆粒を作るプロセスのことです。粉末を顆粒状にすることによって、水との親和性が高まり溶解性が向上したり、粉じんの発生が抑えられるなどの効果があります。また、口腔内でのざらつき感がなくなり、苦味を抑制したり、甘味料や香りを付与することも可能になり、苦味が無いおいしい食品や飲みやすい医薬品の生産に寄与します。

現在、医薬品だけでなく、増粘剤、調味料、スープ、ふりかけ、健康食品などの食品においても造粒商品が普及しており、今後高齢化社会が進む中でさらに市場が拡大するものと予想されます。

商品ラインアップに造粒製品を加えることで、お客様の多様なニーズに一層お応えしてまいります。



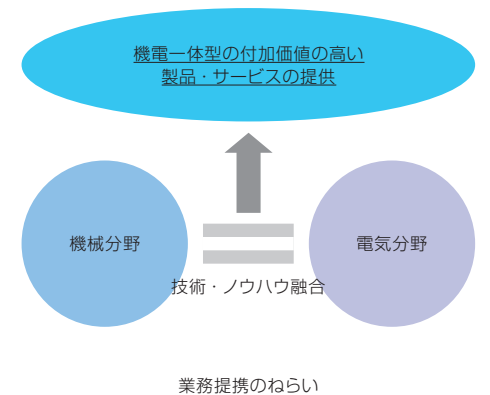
流動層造粒乾燥機

国内公共上水道分野で株式会社明電舎と業務提携

平成24年2月、株式会社明電舎と国内公共上水道分野における業務提携の基本合意書を締結し、4月より両社で販売活動を開始いたしました。

国内の上水道施設の多くはその整備から30年以上を経過し、相次いで更新時期を迎えつつあります。近年施設更新時には、施設を運営する自治体がコストを抑えるため、機械設備・電気設備・維持管理等を一体化して発注するケースが増えてきており、民間事業者には複合的な提案力が求められています。

当社と明電舎はこうしたニーズに対応するため、機械分野、電気分野のエンジニアリング力を融合させることで競争力を強化するとともに、付加価値の高い製品・ソリューション及びサービスを提供できるよう、業務提携を行うことといたしました。機電一体型の事業活動を進めることにより、受注拡大を図ります。



連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期末 (平成24年3月31日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	比較増減
資産の部			
流動資産	59,888	52,550	7,337
固定資産	24,821	26,039	△ 1,218
有形固定資産	21,589	22,734	△ 1,145
無形固定資産	380	369	10
投資その他の資産	2,851	2,935	△ 83
資産合計	84,709	78,590	6,118
負債の部			
流動負債	30,879	29,827	1,051
固定負債	10,814	7,646	3,168
負債合計	41,694	37,474	4,220
純資産の部			
株主資本	42,920	40,932	1,987
資本金	8,225	8,225	-
資本剰余金	7,508	7,508	-
利益剰余金	27,508	25,516	1,991
自己株式	△ 321	△ 317	△ 4
その他の包括利益累計額	△ 250	△ 184	△ 65
少数株主持分	345	368	△ 22
純資産合計	43,015	41,116	1,898
負債純資産合計	84,709	78,590	6,118

◆**流動資産**
売上債権及びリース投資資産の増加などにより7,337百万円増加しました。
◆**固定負債**
長期借入金の増加などにより3,168百万円増加しました。
◆**純資産の部**
当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより1,898百万円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
売上高	68,502	61,097	7,404
売上原価	50,137	45,129	5,007
売上総利益	18,365	15,967	2,397
販売費及び一般管理費	13,515	12,434	1,081
営業利益	4,849	3,532	1,316
営業外収益	247	140	107
営業外費用	314	294	20
経常利益	4,782	3,378	1,403
特別利益	198	3	194
特別損失	23	256	△ 233
税金等調整前当期純利益	4,957	3,125	1,831
法人税、住民税及び事業税	1,829	1,497	332
法人税等調整額	410	△ 263	674
少数株主損益調整前当期純利益	2,717	1,892	825
少数株主利益	33	34	△ 0
当期純利益	2,683	1,857	825

◆**売上高**
アジア地域の新興国や国内において震災の復旧対応も含めた受注が増加し、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が伸長したことから、前期に比べ7,404百万円増加しました。
◆**営業利益・経常利益**
水処理エンジニアリング事業での売上高が増加したことに加え、コストダウンなどに継続して取り組んだ結果、前期に比べ営業利益、経常利益ともに増加しました。

注) 本報告書は決算短信などの数値、文章を基に作成しています。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては当社ホームページの掲載資料などでご確認ください。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,231	3,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	414	△ 1,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,898	△ 1,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 185	△ 44
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,103	746
現金及び現金同等物の期首残高	13,376	12,630
現金及び現金同等物の期末残高	10,273	13,376

◆**営業活動によるキャッシュ・フロー**
5,231百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前当期純利益及び仕入債務の増加によるものであり、主な支出は売上債権及びリース投資資産の増加によるものです。
◆**投資活動によるキャッシュ・フロー**
414百万円の資金流入となりました。主な資金の増加は有形固定資産の売却によるものであり、主な支出は有形固定資産の取得によるものです。
◆**財務活動によるキャッシュ・フロー**
1,898百万円の資金流入となりました。主な資金の増加は長期借入金の増加によるものであり、一方、主な支出は短期借入金の減少、過年度に調達した長期借入金の返済及び配当金の支払によるものです。
当期末の現金及び現金同等物は前期末に比べ3,103百万円減少し、10,273百万円になりました。

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	8,225	7,508	25,516	△ 317	40,932	△ 184	368	41,116
当期変動額	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	△ 691	-	△ 691	-	-	△ 691
当期純利益	-	-	2,683	-	2,683	-	-	2,683
自己株式の取得	-	-	-	△ 4	△ 4	-	-	△ 4
自己株式の処分	-	-	△ 0	0	0	-	-	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△ 65	△ 22	△ 88
当期変動額合計	-	-	1,991	△ 4	1,987	△ 65	△ 22	1,898
当期末残高	8,225	7,508	27,508	△ 321	42,920	△ 250	345	43,015

単体財務情報

■貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期末 (平成24年3月31日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)	比較増減
資産の部			
流動資産	46,026	39,305	6,720
固定資産	23,024	24,238	△ 1,214
負債の部			
流動負債	23,782	23,095	687
固定負債	10,176	6,959	3,217
純資産の部			
株主資本	34,988	33,388	1,599
評価・換算差額等	102	101	1
総資産	69,050	63,544	5,505

■損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
売上高	43,910	38,490	5,420
売上原価	32,956	29,365	3,591
売上総利益	10,954	9,125	1,828
販売費及び一般管理費	8,537	7,901	636
営業利益	2,417	1,224	1,192
営業外収支	985	601	382
経常利益	3,402	1,825	1,577
特別収支	110	△ 259	370
税引前当期純利益	3,513	1,565	1,947
法人税等	1,216	355	861
当期純利益	2,296	1,210	1,085

単体の損益計算書につきましては、前期において、賃貸資産等に係る「固定資産税」は販売費及び一般管理費に計上していましたが、当期より営業外費用として計上する方法に変更しています。前期の業績は、当該変更を反映させた組替後の数値であり、この結果、前期の営業利益は、組替前に比べ55百万円多く表示されています。

【水処理エンジニアリング事業】

当事業におきましては、アジア地域の新興国や国内における震災の復旧対応も含めた産業全般での受注が増加し、メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業分野及び一般産業分野での売上が増加したことから、受注高486億8千4百万円（前期比6.4%増）、売上高490億9千6百万円（同20.9%増）、営業利益27億3百万円（同67.9%増）となりました。

【機能商品事業】

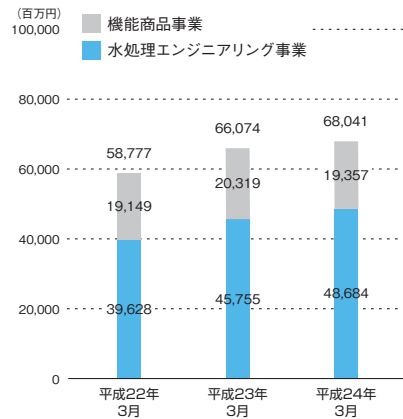
当事業におきましては、震災や節電対応などの影響を受けた顧客工場の操業度低下などにより事業全般で受注及び売上が低調に推移した結果、受注高193億5千7百万円（前期比4.7%減）、売上高194億5百万円（同5.2%減）となりましたが、利益面につきましてはコストダウンなどが寄与し、営業利益21億4千5百万円（同11.6%増）となりました。

■ セグメント別業績

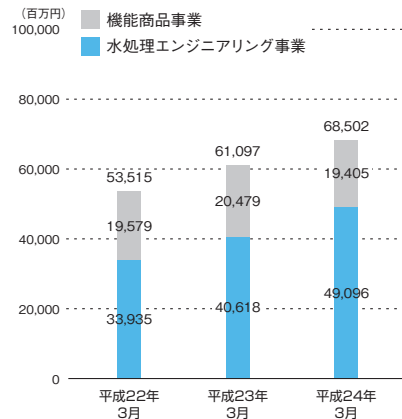
(単位：百万円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	比較増減
■ 受注高			
水処理エンジニアリング事業	48,684	45,755	2,928
機能商品事業	19,357	20,319	△ 961
■ 売上高			
水処理エンジニアリング事業	49,096	40,618	8,477
機能商品事業	19,405	20,479	△ 1,073
■ 営業利益			
水処理エンジニアリング事業	2,703	1,609	1,093
機能商品事業	2,145	1,922	222

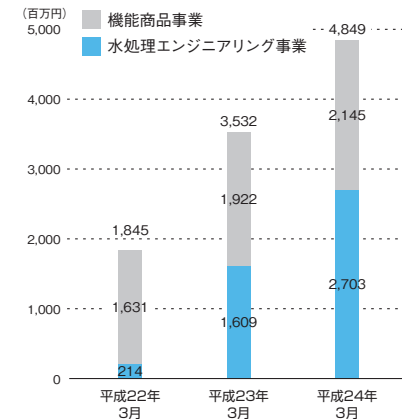
■ 受注高



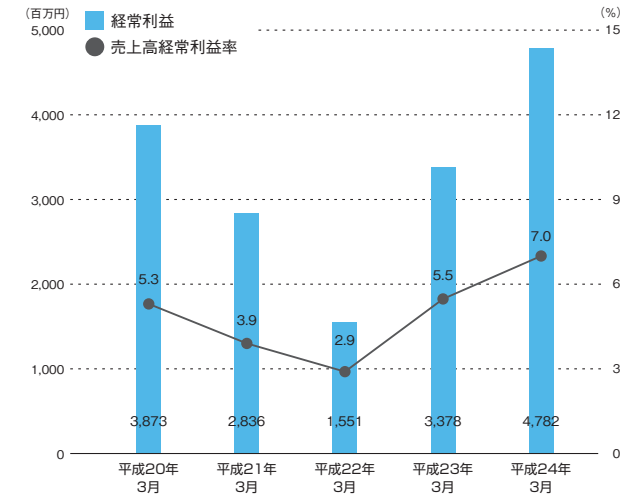
■ 売上高



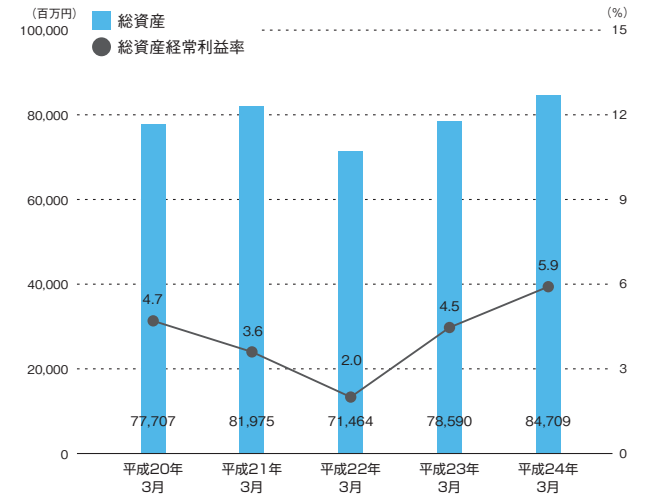
■ 営業利益



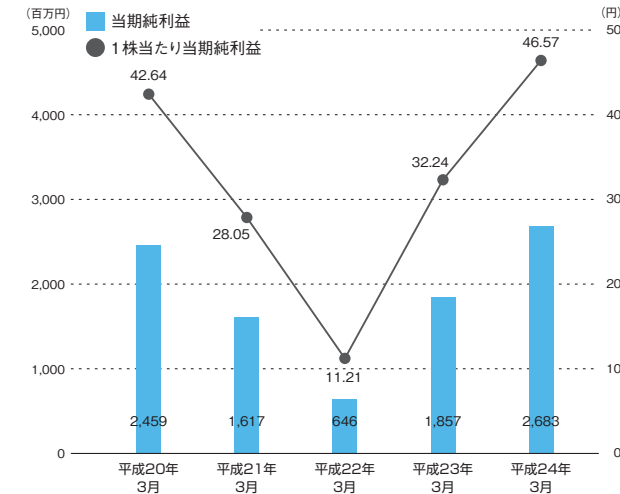
■ 経常利益／売上高経常利益率



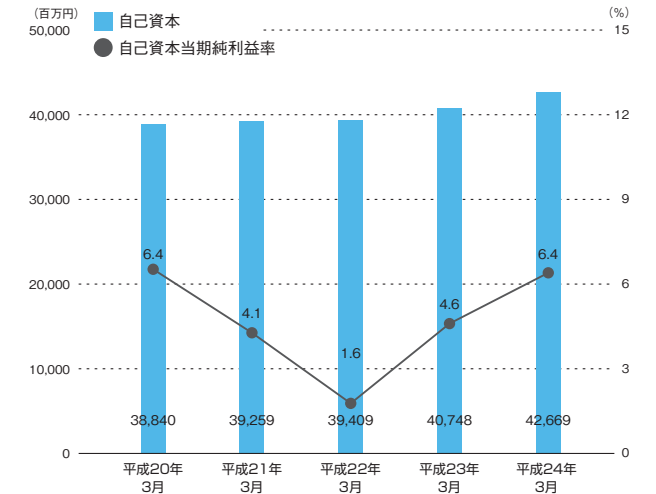
■ 総資産／総資産経常利益率(ROA)



■ 当期純利益／1株当たり当期純利益



■ 自己資本／自己資本当期純利益率(ROE)



会社概要

商号 オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION)
 創業 昭和21年5月1日
 資本金 8,225,499,312円
 従業員数 連結1,770名 (単体683名)
 事業内容 当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種用排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。

主要な事業所

本社 〒136-8631
 東京都江東区新砂1丁目2番8号
 開発センター 相模原
 工場 つくば、いわき
 事業所 長崎
 支店 北海道、東北、中部、関西、中国、九州、台湾

主要なグループ会社

■ 連結対象子会社

(国内) オルガノ北海道(株) (海外) Organo(Asia)Sdn.Bhd.
 オルガノ東北(株) 奥加諾(蘇州)水処理有限公司
 オルガノ東京(株) 奥璐佳瑞科技股份有限公司
 オルガノ中部(株)
 オルガノ関西(株)
 オルガノ九州(株)
 オルガノプラントサービス(株)
 オルガノフードテック(株)
 オルガノアクティ(株)

取締役・監査役・執行役員 (平成24年6月28日現在)

取締役社長 内田 裕 行
 取締役兼専務執行役員 山根 修 二
 取締役兼常務執行役員 奥園 修 一
 取締役兼常務執行役員 浦井 紀 久
 取締役兼常務執行役員 渡辺 大 輔
 取締役兼常務執行役員 伊藤 智 章
 取締役兼常務執行役員 豊田 正 彦
 取締役兼執行役員 古内 力
 取締役 山村 正 春
 常勤監査役 中村 聖 和
 監査役 中根 俊 章
 監査役 星 一 也
 執行役員 砂岡 好 夫
 執行役員 羽多野 敦
 執行役員 長谷川 雅 順
 執行役員 梅 香 豊
 執行役員 明賀 春 樹
 執行役員 吉田 重 人
 執行役員 安藤 正 士
 執行役員 山口 良 一

(注1) 内田裕行、山根修二は代表取締役であります。
 (注2) 中根俊章及び星一也は社外監査役であります。
 (注3) 中根俊章は東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

■ その他グループ会社

(国内) オルガノ山下薬品(株) (海外) Organo(Thailand)Co., Ltd.
 オルガノ・ハイテック(有) Organo(Singapore)Pte Ltd
 環境テクノ(株) Organo(Vietnam)Co., Ltd.
 オルガノエコテクノ(株)
 東北電機鉄工(株)

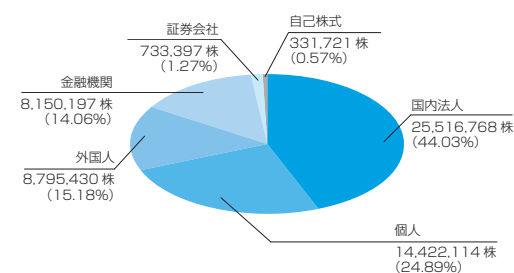
株式の状況

● 発行可能株式総数 126,960,000 株
 ● 発行済株式総数 57,949,627 株
 ● 株主総数 8,104 名

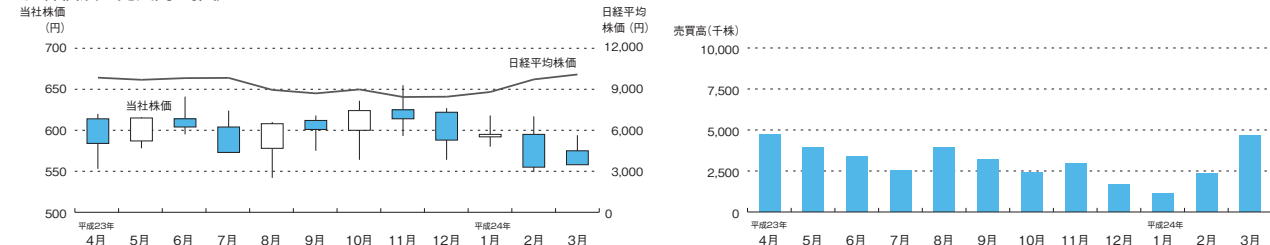
● 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東ソー株式会社	23,877	41.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,660	2.86
株式会社みずほ銀行	1,000	1.72
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	996	1.71
みずほ信託銀行株式会社	775	1.33
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	720	1.24
ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	664	1.14
ケービーシー セキュリティーズ エヌバイ クライアantz アカウント ノン トリーティー	606	1.04
ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデック アカウント	525	0.90
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムコバス アカウント	503	0.86

● 所有者別株式分布状況



● 株価及び売買高の推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 1,000株
 公告掲載方法 電子公告
 公告掲載アドレス <http://www.organo.co.jp/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
 三井住友信託銀行株式会社(※)
 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
 受付窓口 三井住友信託銀行株式会社 本店・全国各支店
 ホームページアドレス <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
 上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

(※) 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社は平成24年4月1日をもって、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と合併し、商号を「三井住友信託銀行株式会社」に変更しております。

株式に関する諸手続のお申し出先について

■住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。
 ■証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 ■未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の本店・全国各支店でお取り扱いいたします。